



～ラブジョイ彗星～

4等から6等級の比較的明るい彗星が、見やすい高さで移動しています。1月中旬にすばるの近くにあり、2月にはアンドロメダ座からカシオペア座へ移動します。双眼鏡で見ると光芒が広がった様子を確認できると思います。写真では、薄緑色の光芒から淡い尾が左上方に出ているのがわかります。(2015.1/18, φ76mm 屈折望遠鏡で撮影)

撮影者：三須 幸一郎(知財部門長)

2月の特許相談会



※今月は鳥取地区と米子地区で開催されます。相談をご希望の方は予約をお願いします。

【鳥取地区】

相談員：下田 一弘 弁理士
(機能性材料・バイオ・太陽電池関係他)
日 時：2月4日(水) 13:30より
場 所：産学・地域連携推進機構2階 会議室

【米子地区】

相談員：富田 憲史 弁理士
(医獣・バイオ関係他)
日 時：2月3日(火) 13:30より
場 所：総合研究棟3階 セミナー室

【目 次】

2月の特許相談会	1
【報 告】CIC 東京新技術説明会	2-3
知財活用事例の紹介	4
【報 告】特許相談会・発明審査委員会の件数	



キャンパス・イノベーションセンター東京 新技術説明会

- 開催日：平成27年1月22日（木）
- 会場：キャンパス・イノベーションセンター東京（CIC東京）
- 主催：CIC東京、（独）科学技術振興機構
- 後援：（独）中小企業基盤整備機構、全国イノベーション推進機関ネットワーク
- 参加大学：山形大学、千葉大学、東京工業大学、新潟大学、奈良先端科学技術大学院大学、鳥取大学、広島大学、山口大学、愛媛大学、高知工科大学

CIC東京新技術説明会は、各大学が合同でライセンス・共同研究可能な技術（未公開特許を含む）について、発明者が自ら発表し、企業の方と事業化を目指すものです。今年は、CIC東京入居大学のうち10大学から、18件の研究発表を行いました。

本学からは、特許出願シーズに基づく下記3テーマに関して、口頭発表及びポスター展示を行いました。発表後には、個別相談会が実施され、当該技術に興味を示した企業とのマッチングを図りました。

医療・福祉分野



大学院工学研究科 助教 井澤 浩則
「シクロデキストリングラフト化キトサンの簡易調製」



《発表概要》

シクロデキストリンにカルボキシメチル化反応にてカルボキシル基を導入し、粗精製状態で、キトサンと脱水縮合反応を行うことで、二段階で構造明確なシクロデキストリン複合化キトサンを合成することに成功しました。

《従来技術・競合技術との比較》

従来、構造明確なシクロデキストリングラフト化キトサンの合成には多段階のステップや複雑な単離操作を伴うシクロデキストリンの誘導化が必要でしたが、本手法を用いることで、それらを伴わずに構造明確なシクロデキストリングラフトキトサンの合成が可能となりました。



プレゼンテーションの聴講者は51名おり、発表後に1社と名刺交換及び個別面談を行いました。

アグリ・バイオ分野



農学部 教授 岡本 芳晴

「美味しく健康によいペットフード製造装置

～ペットフードの現状と新規ホームペットフードメーカーの開発～」



《発表概要》

ペットフードはこれまで工場で大量製造されてきました。そのため、様々な防腐剤等が使用されています。今回、動物の体に優しい防腐剤を使用しないペットフードを家庭で製造可能なペットフード製造装置を開発しました。

《従来技術・競合技術との比較》

これまで、家庭用ペットフード製造器は開発されていません。家庭で体に優しいペットフードを製造することが可能となり、これまでの市販ペットフードを購入していた飼い主の興味を引きつけるものと考えます。



プレゼンテーション聴講者は50名おり、発表後に5社と名刺交換を行い、内1社と個別面談を行いました。

アグリ・バイオ分野



農学部附属菌類きのこ遺伝資源研究センター 助教 岡 久美子

「きのこ由来揮発性抗菌物質の探索とその利活用」



《発表概要》

各種きのこが生産する揮発性物質の中から抗菌性を有する新規な物質を同定し、安全性及び収益性の高い農作物の生産を目的とした農業用資材としての抗菌剤の開発を行います。

《従来技術・競合技術との比較》

従来の殺菌剤の多くは微生物に対して殺菌様抗菌作用を示すため、しばしば耐性菌の出現という問題に悩まされます。一方、本剤はこれまでの研究成果より静菌様抗菌作用を示すことから、耐性菌の出現する可能性は低いです。



聴講者は26名おり、発表後に4社と名刺交換を行いました。後日、専門的内容について問合せのメールがありました。

知財活用事例の紹介



製品名：りとっとのたからもの ほほうるる（化粧品）

企業名：株式会社シャルビー

内容：平成21年に、農学部獣医学科（当時）南三郎名誉教授および岡本芳晴教授によるキチンオリゴマーに関する発明をもとに、県内企業（株）シャルビーとの産学連携により化粧品開発に成功しました。発売以後、販売数は順調に増加しています。本特許（特許第4496375号）に関しては、当該成果が認められ、平成24年度地方発明表彰発明奨励賞を受賞しました。



1月の件数



知財部門による特許相談件数 6件

定例特許相談会の件数

下田一弘 弁理士(機能性材料関係他) 1件

富田憲史 弁理士(医獣・バイオ関係他) 4件

発明審査委員会の件数 6件

*** 刊行物 ***

知財部門ニュース

み・ん・なのニュース2月号
<95号> (通番124号)

2015年2月1日発行

編集・著作：

知的財産管理運用部門

発行：鳥取大学

産学・地域連携推進機構

*** 編集後記 ***

昨年からのスノーボードにはまっているのですが、今年から来年は北海道のパウダースノーで滑ることがちょっとした夢です。もう1つの夢として、今年はグーフィースタンスで滑れるようになりたいと思う今日この頃です…。

*** 特許等の相談 ***

相談員：三須 幸一郎（部門長・教授） TEL：0857-31-6000（直通）
（又は内線2765）

山岸 大輔（副部門長・准教授） TEL：0857-31-6094（直通）
（又は内線4072）

場所：産学・地域連携推進機構 2F 知的財産管理運用部門

E-mail アドレス：chizai@adm.tottori-u.ac.jp

FAX 専用：0857-31-5474（又は内線2771）

産学・地域連携推進機構 HP：<http://www.cjrd.tottori-u.ac.jp/>